

2021 年 1 月 21 日

筑波研究学園都市研究機関労働組合協議会様

2021 年旗開きへのメッセージ

新型コロナウイルス感染への警戒と緊張が強られる年明けとなりました。

菅首相は、通常国会の施政方針演説で、PCR検査の拡大、逼迫している医療機関の減収補填や営業時短に応じた飲食業への十分な補償に触れませんでした。それどころか、特措法や感染症法の改正で罰則強化を打ち出しました。また、学術会議への人事介入問題や「政治とカネ」問題への反省ありませんでした。

核兵器禁止条約がいよいよ発効します。被爆者をはじめ、国内外の長年の運動によって切り拓かれました。唯一の被爆国でありながら、世界で進む平和の流れに背を向ける菅政権に希望を見い出すことはできません。

今年は秋までに必ず総選挙が行われます。市民と野党の共闘の力で勝利し、政権交代をめざします。コロナ後のケアに手厚い社会をつくる社会保障や雇用・職場環境の改善、東海第2原発の再稼働ストップ、平和・民主主義、ジェンダー平等など焦眉の課題解決に向けて全力を尽くします。みなさんと力を合わせてまいります。

貴団体のますますの発展を祈念いたします。

日本共産党茨城県議	山中たい子
日本共産党つくば市議	橋本 佳子
日本共産党つくば市議	山中真弓